

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営		主管課：財政調整課			関連課：なし				
市税等納付コールセンター事業		現年度課税の滞納整理を強化し徴収率の向上及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話や文書等による催告業務を民間委託により行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
税制課	継続	4,739		4,546	1,403	4,739	0	4,739	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
電話催告件数(件)	7,197	6,591	-	催告後2か月以内に納付された件数(件)	3,710	-	-	-	
文書催告件数(件)	3,900	3,719	-	現年度課税の徴収率(%)※参考	99.35	98.88	-	-	
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
電話催告については架電率向上のため、電話帳ソフトの活用や架電時間帯及び曜日の工夫を行い、それでもなお連絡がつかなかった場合は、速やかに文書による催告を行いました。 また、業務実績や課題等について、事業者と月一回開催のミーティングにより、その状況を把握及び共有し、効果的な事業実施に努めています。				架電・文書催告に反応がない滞納者には、今後も引き続き本事業を活用し、職員の徴収事務と連携し、より効果的な滞納整理を検討します。					

資産活用		主管課：財産活用課			関連課：なし				
通訳タブレット導入事業		南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話(日本語)通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
市民課	新規	0		0	78,379	874	0	874	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
来庁した外国人の人数(人)	-	-	484	通訳タブレットを使用した外国人の人数(人)	-	-	-	84	
来庁した聴覚障害者の人数(人)	-	-	24	通訳タブレットを使用した聴覚障害者の人数(人)	-	-	-	20	
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
新規事業のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 日本語が困難な外国人や聴覚障害者は、容易に窓口手続等の意思疎通を図ることができません。</li> <li>・課題 日本語が困難な外国人や聴覚障害者が、容易に窓口手続等の意思疎通を図ることで。</li> <li>・取組内容 通訳タブレットを導入し、会話形式で通訳を行います。</li> </ul>					

本庁舎施設管理計画事業		本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るものです。また、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。 令和3年度 受変電設備改修、蓄電池設備改修 令和4年度 自動火災報知設備更新、第2庁舎LED化 令和5年度 屋上防水改修、第2庁舎LED化							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
財産活用課	継続	18,044		16,019	3,124	43,721	34,091	9,630	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
改修工事費(千円)	25,324	0	55,836	改修等必要箇所数(件)	12	0	8	8	
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎設備について定期点検を実施しました。</li> <li>・令和2年度は、受変電設備改修工事(継続)を行っています。</li> <li>・本庁舎建設から30年以上が経過し、老朽化していることから設備更新や改修の検討を進めました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎設備が経年劣化等により修繕箇所が増加しています。</li> <li>・令和3年度は、受変電設備及び蓄電池設備の改修工事を行います。</li> <li>・庁舎設備について、計画的に行う必要があります。</li> </ul>					

ファシリティマネジメント推進事業		各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
財産活用課	継続	1,319		1,090	17,612	1,540	1,540	0	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	32	32	33	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)	7,840	8,198	8,279		
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	34	36	37						
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内48施設一括して再生可能エネルギー100%電力の供給を受けるため公募を実施し、令和3年4月から同電力の受電が実現しました。</li> <li>・市役所屋上に携帯基地局(アンテナ)を設置し、歳入の拡大を図りました。</li> <li>・市内複数公共施設に公衆Wi-Fiのアクセスポイントの設置拡大を図りました。</li> <li>・第4回事業者提案制度の協議対象案件(都市公園に自動販売機を設置し、その収益を原資に学校に防犯カメラを無償で設置する事業)において、防犯カメラ7台(自販機5台)の設置が完了しました。</li> <li>・第5回事業者提案制度の協議対象案件(公民館・福祉会館・保育所等市内19公共施設におけるLED化ESCO事業)については、事業化したことにより令和3年度から工事が始まり、令和4年度から同照明でのサービス開始の予定です。</li> <li>・ESCO事業、包括施設管理業務委託、有料広告事業などの各種FM施策を引き続き民間企業等と連携しながら進めました。</li> <li>・また、学校以外の公共施設の改修等の営繕に係る設計・現場管理を行いました。</li> <li>・資産の活用面では官民連携を引き続き行い、施設の長寿命化に寄与する改修等を進めていく必要があります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種FM施策を実施することにより、市の資産を十分に活用できています。</li> <li>・また、施策の改修設計・監理を行うことで長寿命化が図られています。</li> <li>・現在取り組んでいるFM事業を継続的に推進します。</li> <li>・市内48の高圧受電施設については再生可能エネルギー100%電力の受電が実現したことから、低圧受電施設についても同電力の受電を目指します。</li> </ul>					

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

組織・人材		主管課: 人材育成課			関連課: なし				
政策法務推進事業		政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により政策法務を推進します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
総務課	継続	4,143		3,651	9,888	4,142	0	4,142	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
研修受講者数(人)	220	173	220	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)		112	131	152	
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループワークを中心とする研修を中止とし、講義を中心とする基礎法務研修、政策法務研修&lt;基礎編&gt;及び行政リーガル・ドック事業のフィードバック研修を感染症対策を講じた上で実施しました。また、行政リーガル・ドック事業についても、簡略化した形で実施しました。</li> <li>今後も新型コロナウイルス感染症に関する状況を注視しながら事業の実施に努めます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>研修及び行政リーガル・ドックを継続して実施してきたことにより、職員の政策法務に対する意識が向上しています。</li> <li>全庁的に更なる政策法務に対する意識向上を図るため、継続して研修及び行政リーガル・ドックを実施する必要があります。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら可能な範囲で、政策法務研修計画に基づき各研修を実施します。また、不利益処分をテーマに行政リーガル・ドックを実施します。</li> </ul>					

職員研修事業		職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
人材育成課	継続	18,559		14,206	5,898	19,058	388	18,670	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
職員数(毎年4月1日現在)(人)	1,078	1,102	1,117	職員自主研修助成者数(人)		37	26	51	
集合研修実施件数(件)	27	24	28	派遣研修派遣職員数(人)		59	42	87	
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
<p>職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスのさらなる向上を図るため、年間を通じて新型コロナウイルス感染対策を図りながら、研修計画に基づく研修を実施しました。</p> <p>令和2年度新たな研修として、女性職員のキャリア形成に資する「女性活躍推進研修」や、円滑な業務引継ぎ、マニュアル化による効果的な引継ぎを進めるための手法を学ぶ「円滑な業務引継ぎ研修」と題した研修を実施しました。</p> <p>自治大学校や市町村アカデミー、千葉県自治研修センター等での外部研修は、新型コロナウイルス感染症予防から中止となったものもありましたが、人材育成基本方針に基づく研修を実施できたものと評価します。</p> <p>なお、令和3年度は、プロポーザル選定の結果、職員研修一括業務委託の受託者が変更となることから、新たな事業者のノウハウを導入しながら、一層、効果的な研修の実施に努めます。</p>				<p>職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスのさらなる向上を図るため、年間を通じて新型コロナウイルス感染対策を図りながら、研修計画に基づく研修を実施します。</p> <p>本年度から職員研修一括業務委託の受託者が変更となったことから、事前の調整等、委託業者との連携を図り、新たな事業者のノウハウを導入しながら、一層、効果的な研修の実施に努めます。</p> <p>また、今年度の特別研修として、業務の効率化を目的とした情報力向上のための研修や、組織における障害者の活躍などをテーマにした研修を行うことを予定しています。</p>					

行政経営		主管課:			関連課: なし				
成年後見制度中核機関運営事業		成年後見等の権利擁護が必要な人が、早期の段階から相談に繋がると共に、必要な制度を利用できるように、社会福祉協議会に中核機関としての役割である広報機能、相談機能、利用促進機能、後見人支援機能の業務を委託します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
高齢者支援課	新規	505		200	1,753	8,925	8,925	0	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
成年後見推進センター(成年後見中核機関)の周知活動を実施した回数(回)	-	-	40	成年後見推進センター(成年後見中核機関)の周知活動を実施した人数(人)		-	-	720	
成年後見制度に関する相談会・研修会の実施回数(件)	-	-	7	成年後見制度に関する相談会・研修会の参加人数(人)		-	-	270	
令和2年度取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
<p>令和2年度においては成年後見制度活用促進事業として、制度の活用促進の一環として、制度の周知としてパンフレットの作成及び配布、個別相談会の実施及び介護専門職向けの研修会を実施しました。令和3年度においては、成年後見制度中核機関運営事業として、成年後見制度の地域連携ネットワークの中核機関を設置し、中核機関が活用促進の機能を担うこととしており、成年後見制度の活用促進体制の充実を図ります。</p>				<p>(現状と課題) 国の成年後見制度利用促進基本計画を踏まえ、成年後見制度の地域連携ネットワークの推進に取り組むため、流山市社会福祉協議会に委託し、流山市成年後見推進センター(成年後見中核機関)を令和3年度から設置しました。市民への成年後見制度の利用促進のため、センターの周知が課題です。</p> <p>(取組内容) 中核機関の設置や成年後見制度の概要等について市民に広く周知ができるよう、チラシや広報等での周知のほか、地域住民や支援者が実施する会議等中核機関職員が出向き周知を図っていきます。また、専門職や市民後見人等による相談会の実施や研修会、講演会等の実施を行います。</p>					

インターネット議会中継システム事業		流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
議会事務局	継続	6,590		6,556	3,507	6,202	0	6,202	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
インターネット配信回数(回)	25	20	25	インターネット配信閲覧者延人数(人)ライブ中継(人)		15,903	24,381	25,000	
				インターネット配信閲覧者延人数(人)録画中継(人)		6,906	4,094	5,000	
令和2年度取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度導入した新たな映像・音響システムについて、適切な運用、保守に努めました。</li> <li>新たな採決システムにより、以前に比べ議事がスムーズに進行できました。</li> <li>手話同時通訳の導入についてはご好評をいただいております。このことはインターネット配信閲覧者の人数の増加にも表れています。他自治体からの問い合わせも多く、非常に高く評価できるものと考えています。本会議での議事運営に当たっても、議長から登壇者に対し、早口にならないよう手話同時通訳への配慮を促すことで、耳の不自由な方へより多くの情報が伝わるよう注意を払いました。</li> <li>コロナ禍での委員会運営の観点から、議員が別室でインターネット配信による委員会傍聴をしやすくなるよう、議会フロアWi-Fi環境を改善し、三密対策に努めました。</li> </ul>				<p>映像・音響システムを引き続き適切に運用・保守することで、安定した議事進行に努めるとともに、分かりやすい映像配信を行うことで、議会基本条例に規定する、議会運営の公開性及び透明性の確保に努めます。</p> <p>また、ご好評いただいている手話通訳についても、一層の分かりやすさに努めます。</p> <p>更に、コロナ禍で傍聴者減少が懸念されることから、インターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、周知に努めます。</p>					

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

行政経営		主管課:			関連課: なし				
<b>議会ICT推進事業</b>		流山市議会ICT推進基本計画に基づき、市議会ホームページの充実とセキュリティの向上を図り、オープンデータの活用を継続することによって、より一層市民に開かれた市議会を目指します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
議会事務局	継続	330		288	2,104	288	0	288	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
Facebookコラム掲載数(回)		12	12	12	流山市ICT推進基本計画に基づく実施計画事業数に対する実施事業割合(%)		94	96	96
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市議会のホームページは、平成24年10月に市のホームページから独立し、独自ドメインを取得し、迅速な情報提供を行っています。また、平成30年度から市議会ホームページの暗号化を実施し、セキュリティの向上を図っています。令和2年度は、暗号化の更新手続きを行い、安定したセキュリティ環境の整備に努めました。また、市民からの声を反映し、早期に委員会開催予定時間を掲載するなど、より詳細な市議会情報を掲載し、積極的な情報発信に努めました。</li> <li>令和2年度は、YouTube委員会中継のページについて、委員会名から検索できるよう改善しました。</li> <li>市議会独自のホームページであることから、市議会の情報掲載を議会独自に迅速に行うことができ、また市民の声を反映した改善も適宜できる点について、評価できるものと考えています。</li> <li>今後も掲載内容、掲載時期等について適宜改善をしながら、より一層市民に開かれた市議会の実現に向け取り組んでいくべきと考えています。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>独自ドメインを取得していることから、市議会の情報発信を議会独自に迅速に行うことができます。また、平成30年度に行った暗号化の更新手続きを確実に行うことにより、セキュリティの確保に努めています。</li> <li>市民からの声をともに、市議会会議予定をより詳細に掲載するなど、適宜改善を図っています。</li> <li>オープンデータの公開も適宜行っています。</li> <li>引き続き、迅速な情報発信を行うとともに、セキュリティの確保に努めます。また、市民の声をともに適宜掲載時期や掲載方法等、改善を図ってまいります。</li> </ul>				
<b>全庁LAN整備事業</b>		職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
情報政策・改革改善課	継続	218,753		210,994	18,935	201,222	6,903	194,319	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
全庁LAN/パソコン整備台数(台)		1,007	1,077	1,127	整備に対する全庁LAN/パソコン不足台数(台)		0	0	0
自治体セキュリティクラウドマルウェア等検知件数(件)		12,375	12,019	13,000	ウイルス感染件数(件)		0	0	0
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>庁内パソコンについては、業務で使用するパソコンを不足なく配備するため、70台を導入しました。業務を効率化し、職員は職員でしかできない仕事に注力できるようにRPA(業務自動化システム)を新たに3課に導入しました。また、全庁的にAI議事録システムを導入し、職員による議事録作成の負担の軽減を図りました。</p> <p>情報セキュリティについては、前年度実施した外部監査で指摘された事項について改善を図るとともに、情報セキュリティ研修を実施しました。</p>					<p>国の自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画に対応するため、情報システムの標準化・共通化など国の動向を注視しつつ推進していきます。</p> <p>庁内パソコンについては、老朽化したパソコン50台分を更新します。</p> <p>情報セキュリティを確保するため導入したインターネット環境の仮想化による分離システムを更新し、セキュリティ対策を継続的に実施していきます。</p> <p>また、情報セキュリティを適正に維持していくため、外部機関によるセキュリティ監査を実施します。</p>				
<b>公文書一元管理事業</b>		公文書を一元的に管理することにより、市民等の情報公開の申請又は要望に適切に対応します。また、将来の市民に過去の行政の状況を公文書を通じて引き継ぎます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
総務課	継続	19,334		19,189	3,226	216	0	216	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
書庫(水道局跡地)の収納率(%)		97.7	81.9	83.0	保存文書の集約率(%)		83.5	83.1	84.0
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書を適切に保管し、情報公開の申請等に対応しました。</li> <li>電動書架増設工事を実施し、今後の公文書の増加に対応できる措置をとりました。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書を適切に保管し、情報公開の申請等に対応していきます。</li> <li>新型コロナウイルス感染症関連など今後の公文書の増加が予想されますので、引き続き文書の適切な保管に取り組みます。</li> </ul>				
<b>広報発行事業</b>		広報ながれやま(月3回。年間37回のうち3回は特集号、年1回の号外特集号)をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布(新聞折り込みや宅配など)します。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ(マスメディアへの情報提供)などを通じて市政情報を広く発信します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
秘書広報課	継続	47,123		45,091	21,039	46,948	0	46,948	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
					「マチイロ」の登録件数(件)		4,775	6,233	8,102
					広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合(%)		84.5	84.8	85.0
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容 転入者に「マチイロ」(広報紙などを閲覧できる行政情報アプリ)の案内書を配布しました。</li> <li>評価 マチイロの登録件数が順調に増え、電子媒体による広報紙閲覧を促進することができました。</li> <li>改善点 転入者以外にも、マチイロの周知が必要になります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>現状 マチイロの登録件数が順調に増加しています。</li> <li>課題 30代、40代以外のマチイロ登録件数が少ない状況です。</li> <li>取組内容 マチイロを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行います。</li> </ul>				



施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

行政経営		主管課:			関連課: なし			
見やすく分かりやすいホームページ運営事業	市の公式ホームページについて、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を利用した管理・運営を行い、「見やすく」「探しやすい」情報提供を行うことで、流山市民はもとより市外の方や企業の方にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
秘書広報課	継続	6,550		5,908	7,013	6,205	2,000	4,205
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				市ホームページの月平均ページビュー数(回)		897,824	1,193,643	1,000,000
				ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合(%)		62.8	61.9	63.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容</li> <li>ウェブアクセシビリティに配慮したページになるよう、ページデザインを工夫しました。また、コロナ禍において、迅速に情報を提供するため、動画配信を実施しました。</li> <li>評価</li> <li>総務省が提供するアクセシビリティ評価ツールによりチェックを行い、エラーが生じていないことを確認しました。</li> <li>改善点</li> <li>リンク切れが生じないよう定期的に確認する必要があります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>現状</li> <li>ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合が低下しています。</li> <li>課題</li> <li>市のホームページに訪れる人が目的のページにより到達しやすいサイト構成・ページ内容にする必要があります。</li> <li>取組内容</li> <li>目的ページに到達しやすくするため、不要なページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行います。</li> </ul>				

広聴活動事業	書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。掲載した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
秘書広報課	継続	14,306		12,600	17,692	13,702	0	13,702
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
タウンミーティング開催回数(回)	9	10	9	無作為抽出型タウンミーティングに「満足した」と回答した参加者の割合(%)		81.9	-	82.0
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)		79.7	83.0	83.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組</li> <li>新型コロナウイルス感染症が流行する中、密を避けながら行う意見交換の手法として、オンライン会議ツールを活用したタウンミーティングを行いました。</li> <li>評価</li> <li>オンライン会議ツールの活用は、直接対面することなく議論をすることができるため、感染症対策に有効でした。</li> <li>改善点</li> <li>開催時間を1時間と設定しましたが、後半は時間が足りずに満足に意見交換を行えない参加者もいたため、建設的に議論を行うための工夫が必要です。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>現状</li> <li>依然として新型コロナウイルス感染症流行の先行きは見えない状況です。</li> <li>課題と取組み</li> <li>集合型のタウンミーティングについては、感染症拡大の先行きを注視しながら、判断をする必要があります。開催する場合は、市民が安心して参加できるよう、感染拡大防止のための最大限の対応を行います。</li> <li>また、併せてオンライン会議ツールを活用した意見交換についても、準備を進めます。</li> </ul>				

TX沿線整備地区の字の区域の名称変更事業	つくばエクスプレス沿線整備地区で進められている土地区画整理事業の換地処分に合わせて、当該地区の字の区域及び名称の変更を行います。木地区については、換地処分が令和5年度に行われるため、住所変更通知書の作成等の業務を令和4年度・5年度に継続して実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
総務課	継続	14,778		3,308	6,332	478	0	478
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
字変更業務の進捗状況(%)	100	71	100					
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度末の鱈ヶ崎・思井地区の土地区画整理事業の換地処分に合わせて字の区域及び名称の変更を実施する準備を行ってきました。</li> <li>関係機関との連絡調整を行い、住所変更手続の準備は概ね順調に進んでいましたが、換地処分が令和3年5月21日に延期になったことから翌年度も継続して取り組みます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年5月21日に鱈ヶ崎・思井地区の換地処分が予定されていることから、これに合わせた字の区域及び名称の変更に向けて、令和2年度から引き続き住所変更通知等の業務を進めます。</li> <li>住民の皆様には、適切な時期にお知らせするとともに、問合せに対しては丁寧な説明を行います。</li> </ul>				

マーケティング		主管課: マーケティング課			関連課: なし			
流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業	「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
マーケティング課	継続	23,492		6,988	21,039	14,059	3,300	10,759
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
イベント開催回数(回)	6	1	3	常住人口(1/1現在)(人)		195,087	199,920	205,000
				イベント来場者数(人)		163,900	8,023	40,000
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■(主な)取組内容</li> <li>首都圏PR業務について、WEBコンテンツを活用したPRを実施しました。また、twitter広告等も活用し、PR拡散に努めました。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、イベントが全て中止となりましたが、代替企画として市民、市内事業者、市内生産者が連携して、オンラインイベントを実施しました。</li> <li>■評価</li> <li>今回新たにtwitter広告を中心としたSNSを活用したことで、より対象を絞ったPR拡散を行うことができました。また、波及効果の測定やリアルな反響の確認も行うことができ、PR効果の分析にも役立ちました。</li> <li>オンラインイベントを市民等と創り上げたことにより、シビックプライドの醸成に寄与することができました。</li> <li>■改善点</li> <li>首都圏PR業務について、インターネット環境のインフラ化やSNSの普及により、広告やPRの形が変わってきたため、今後は、より効果的なPR方法の検討が必要です。</li> <li>オンラインイベントについて、初実施だったことありますが、リアルイベントほどのつながりや賑わいは生まれづかったため、コロナ禍でのイベント実施方法について、引き続き検討が必要です。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>■現状</li> <li>令和3年4月に策定した流山市ブランディングプランに併せて、今年度流山市特設PRサイトをブランドサイトとしてリニューアルする予定です。</li> <li>令和3年度のイベントについて、新型コロナウイルスの影響により、GWの「流山グリーンフェスティバル」及び食をテーマとした「南流山屋台フェア」を中止としました。</li> <li>■課題</li> <li>首都圏PR業務については、メディアへの波及が大きいことから、ブランド推進に寄与する内容の検討が必要です。また、ブランドサイトについて、首都圏PR業務の受け皿としての役割も担うため、当該業務内に連携を行いながら作成することが必要です。</li> <li>イベントについて、コロナ禍での実施方法及び実施可否判断について、検討が必要です。</li> <li>■取組内容</li> <li>流山市ブランディングプランに基づき、ブランド資源の発掘やブランドを体験するタッチポイントの創出などを検討していき、流山市ブランドを構築していきます。</li> <li>首都圏PR業務については、例年のPR業務と併せて、新ブランドサイトの作成を加えた形で、提案型プロポーザルを実施します。</li> <li>イベントについては、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、実行委員会と開催可否や内容について、協議していきます。</li> </ul>				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。